

グレート バンディグ

THE GREAT HUNTING II

2

カラー作品 ■ 超残酷ドキュメント
監督 アントニオ・クリマティ / マリオ・モッタ
音楽 グイド・マウリツィオ (サン・ラファエーレ)
ナレーター 小林恭治

日本ヘラルド映画 

《人喰いライオン》の
興奮もさめやらぬいま
太陽の返り血を浴びて
登場する衝撃の続篇――
今度は何が飛び出すのか！



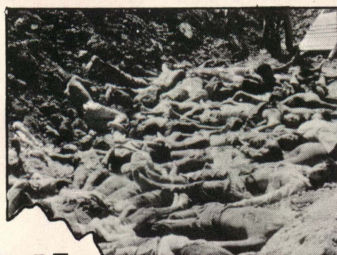
グレートハンティング2

＜カラー作品＞イタリア映画 長篇ショック・ドキュメント 日本ヘラルド映画



「グレート・ハンティング2」、前作のショックもさめやらぬ今、またまた恐るべきドキュメンタリーが登場する。

動物が動物を、人間が動物を、動物が人間を、そして人間が人間を狩る。その様々な形を撮ったのが、前作であるならば、この「グレート・ハンティング2」は、今、おごれる人間達に対する自然の復讐が始まったのではないか、という予感と警告に満ちた恐るべき事柄を世界各地から撮影して来ている。

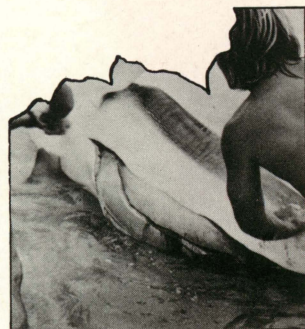


■一九七六年のグアテマラ大地震



一九七六年、世界各地に震度8以上のいわゆる関東大震災クラスの大地震が何と六回も起っている。その一つグワテマラの大地震の悲惨な状況が、ここには刻明に撮られている。ガレキの山、累々たる死骸、その死体の山をブルドーザーで整理する無残さ、そして火事場ドロボウの横行。見つけ次第銃殺、という警察の発表にもかかわらず、また一人が逮捕される、人々注視の前で、警官が射殺する。この世のものとは思えない地獄絵図をカメラはじつと撮りつづける。このショック！

同じ七六年、モザンビークで起った「笑い病」の流行。笑いながら、徹底的に笑いつづけながら死んでゆく人々。この奇病はいったい何なのか。



■このサメの腹を裂くと……

サメの腹中に吞まれ、すぐそのサメを捕え腹をさいてとり出した十八才の少女の遺体、強力なサメの胃液に一部が溶けかかっている無残さ。

ニューヨークの下水道に大蛇、そしてワニまでが生棲しはじめた無気味な時代。

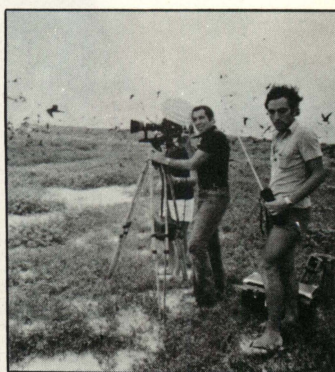
サイクロン（大暴風）に襲われたオーストラリアの小さな町の住人たちが、食料も水もなく餓死して行つた経験から、原始人同様の生活をおくる一人の男の生懸。彼を変人だと笑えるだろうか？水道もスーパーマーケットもなくなくなったとき我々は生きて生けるだろうか？



■シマ馬が豹を

そして荒野ではいま、いつもは憶病なシマウマが豹を襲うという不思議な事件がヒンピンと起っている。

前作をはるかに上回るショック度と、最も新しい情報と、現在も起りつづけているであろう人類崩壊の危機に焦点を合わせて「グレート・ハンティング2」は、いま文明社会に新しい挑戦状をたたきつける、驚異と恐怖に満ちたドキュメンタリーである。



■前作を凌ぐ真実の記録が、前作と同じスタッフで、いま完成した。

スタッフは、スーパード・ヤコベッティとまで呼ばれ、事実のみを撮りまくって世界に衝撃を与えた前作と同じ、アントニオ・クリマーティとマリオ・モツラが監督を担当。グイド&マウリッツィオが美しい音楽をつけて、画面の強烈さから一つの息ぬきを与えてくれる。



3月 ショッキング大ロードショー！

■特別鑑賞券1000円絶賛発売中！
(一般1300円 学生1100円の処)

丸の内東宝

(211) 6088

渋谷スカラ座

(461) 1929

新宿グランド
オデラン

(202) 0141

池袋劇場

(971) 8361

江東リッツ

(631) 3121

横浜東宝名画

045 (641) 8531

川崎スカイ

044 (233) 9381